

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【野遊びSDGsの推進】

申請者	三重県いなべ市ほか 2 自治体※	初回採択回	令和 2 年度第 2 回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,078,543千円 (247,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携により点から面での展開を図ることで、インバウンド等の誘客促進を図る。 ・インバウンド等をターゲットに需要の拡大から地域資源の価値創造を図る。 ・インバウンド等の誘客から更なる交流人口の拡大を図る。 ・宿泊拠点等の整備により、滞在時間の長期化を図ることができ、1回あたりの地域内消費額の拡大を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●いなべ市 <ul style="list-style-type: none"> ○野遊びSDGs拠点（仮称）を核とした事業体制構築を行う ・施設運営体制計画策定（委託料）12,837千円 ○インバウンドを主なターゲットとして、旅行商品の磨き上げ、海外プロモーションの実施 ・インバウンド等旅行商品造成（委託料）12,399千円 ・インバウンド等送客広報（委託料）10,047千円 ○野遊びSDGs拠点（仮称）整備工事 ・グランピング施設整備工事（工事請負費）101,217千円 ●大館市 <ul style="list-style-type: none"> ○サービス向上、お土産品の品質向上及び市民の機運醸成の活性化 ・「野遊びSDGs」拠点開発・運営事業（委託料）4,400千円 ・拠点エリア施工費（工事請負費）86,824千円 ○各アクティビティの開発ならびに、改良を図り、品質を向上させる。 ・「野遊びSDGs」コンテンツ開発事業（委託料）3,300千円 ○広告掲載の他、インフルエンサーの招へいを通じて発信を行い、さらなる認知拡大につなげる。 ・「野遊びSDGs」情報発信事業（委託料）9,576千円 ●いなべ市・大館市 <ul style="list-style-type: none"> ○連携自治体と情報共有をはじめ、各種の共同事業を推進する。 ・地域連携推進事業（負担金）各市 3,500千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①「野遊びSDGs」プログラムを利用した人の消費額（+31,350千円） ②「野遊びSDGs」を利用した人の1回滞在当たりの客単価（+230千円） ③「野遊びSDGs」による地域産業創出件数（+9件） 	関連URL	芽室町 https://www.memuro.net/ 大館市 https://www.city.odate.lg.jp/ いなべ市 https://www.city.inabe.mie.jp/

※経費内訳はR6年度事業費



※三重県いなべ市、北海道芽室町、秋田県大館市の広域連携事業

事業概要【共生社会の実現による持続可能な魅力あふれる地域づくり事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	255,113千円 (102,156千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	地域を支える人材を確保するという量的な視点だけではなく、それぞれの地域が持つ独自性を生かし、魅力ある地域を創りあげ、そこに暮らす一人ひとりの希望をかなえるという「質」を重視した取組を進め、県内外のさまざまな人から選ばれ、人々の交流が深まり、豊かに暮らすことができる三重をめざすこと。また、多様な能力を発揮できる魅力ある地域になることで、移住促進をめざすこと。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ダイバーシティ社会の実現に向けて、ワークショップや啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進の企画・運営 (委託料) 2,276千円 <p>○移住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重の人や暮らしとつながるコミュニティ「日々三重」の取組充実、移住者の受入れ態勢充実のための講座を開催 (委託料) 8,830千円 ・相談体制、情報発信等にかかる経費 66,782千円 <p>○性の多様性 (LGBTQ等) に関するイベント、啓発物作成、配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民向け啓発および相談窓口 (委託料) 6,831千円 <p>○障がい者に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林福・水福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援 (委託料) 3,760千円 ・周知啓発イベント及び障がい者雇用の促進 (委託料) 3,940千円 ・環境整備費用 360千円 ・事業推進費用 6,924千円 <p>○若者に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動インターンシップの開催 (委託料) 2,453千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①当該推進交付金事業による林福・水福連携施設外就労マッチング件数 (+12件)</p> <p>②当該推進交付金事業による短時間雇用障がい者数 (+12人)</p> <p>③県及び市町の施策を利用した県外からの移住者数 (+85人)</p> <p>④ダイバーシティの認知度 (+8%)</p>		
	<p>○移住フェア</p>  <p>○農福連携による就労機会の創出</p> 	<p>○性の多様性に関する相談窓口</p>  <p>○テレワークによる障がい者雇用 通常の職場にはなじめない方もテレワークなら働ける</p> 	<p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm </p>

事業概要【消費拡大と気候変動に対応したみえの農林水産推進事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	94,327千円 (28,842千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の成長産業化および農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進する ・「持続的なもうかる農業」の実現に向けた戦略的な取組を促進する ・林業の持続的な発展を図る ・気候変動に適応した養殖業の実現 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○伊勢茶の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品・サービスの開発促進 (補助金) 1,800千円 ・事業推進経費 4,599千円 ○県産米の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・P R活動 (委託料) 3,600千円 ○県産木材の消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県産木製品の募集、選定、情報発信 6,006千円 ・普及啓発活動 1,503千円 ○気候変動に対応した養殖業の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな品種における実証試験および成果普及 11,334千円 		 	 <p>伊勢茶マイボトルキャンペーン</p> 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業における県内新規就業者数 (+9人) ②伊勢茶新商品開発数及び多様なシーンでの伊勢茶の活用数 (+18件) ③県産材を使用した新たな商品数 (+41商品) ④海面養殖業収獲量の増加率 (+6%) 		関連URL 【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm	

事業概要【One to Oneマーケティングによる三重の観光地づくり推進事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	397,193千円 (140,066千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する旅行者ニーズに対応するため、旅行者個々の興味・関心データや様々な観光データを蓄積して一元管理することで、旅行者一人ひとりにあわせた「One to Oneマーケティング」を実現する。 ・蓄積したデータを活用した観光誘客・周遊促進の取組を通じて、三重の強みを生かした観光ブランディングや観光の魅力づくりを推進していく。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○三重県観光マーケティングプラットフォームを活用した「One to Oneプロモーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信やプラットフォームの管理費用 (委託料) 55,690千円 ○三重県観光マーケティングプラットフォームのデータを活用した魅力的なコンテンツ造成と周遊促進 ・周遊促進プログラムの管理、情報発信費用 (委託料) 33,960千円 ○マーケティングデータ利活用人材育成 ・セミナーの実施や活用支援業務の委託費用 (委託料) 10,171千円 ○アフターコロナの旅行者ニーズの変化に対応したインバウンド誘客 ・インバウンド向け情報発信費用 (委託料) 40,245千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①観光消費額 (+2,580億円) ②三重県観光マーケティングプラットフォームへの登録旅行者数 (+4.2万人) ③三重県観光マーケティングプラットフォームへの参画事業者数 (+330事業者) ④観光客満足度 (+1.02%)	関連URL	【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm

事業概要【事業承継人材マッチング支援事業～Humidas（フミダス）～】

推進当初

申請者	三重県名張市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	68,043千円 (20,732千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不在による事業者の廃業を防ぎ、より長く継続するための支援を行う ・市内外から広く人材を募り、後継者を募集する事業者とのマッチングを図る ・事業者の攻めの経営への転換を支援し、経営力の向上を目指す ・自身のスキルや経験を活かし、セカンドキャリア等へ挑戦できる風土の醸成を目指す 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>委託料 18,223千円</p> <p>○第三者による事業承継マッチング事業 12,352千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所訪問によるニーズ発掘 ・事業承継、創業セミナーの開催 ・専門家による個別相談の実施 ・M&Aプラットフォームとの連携 <p>○攻めの経営への転換支援 3,899千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催 ・個別相談の実施 ・デジタル支援 <p>○事務費 1,972千円</p> <p>人件費 2,509千円</p>			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①事業所の人材マッチング件数 (+17件) ②事業所の新事業展開実施件数 (+60件) ③セミナー、個別相談参加事業者数 (+90事業所) ④セミナー、個別相談等参加人数 (+180人) 		関連URL	https://www.humidas.com

事業概要【観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業】

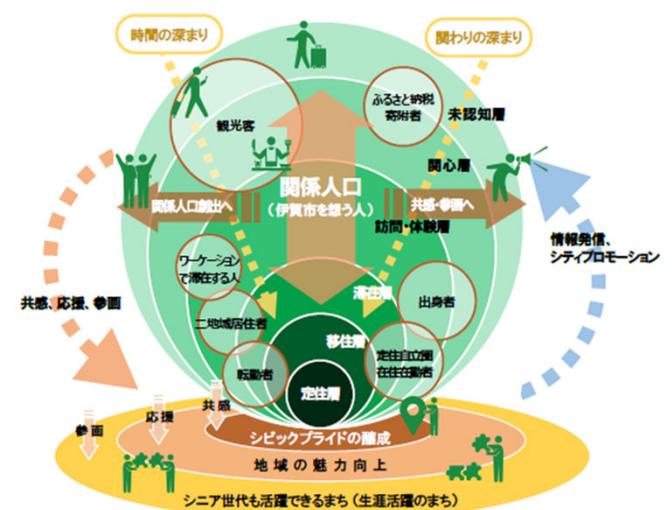
推進当初

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,000千円 (8,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市、観光関連団体、地域、民間企業等の有機的連携により観光事業を推進する。 ・志摩市の重要な観光資源である宿泊施設を中心として、市内に点在する様々な魅力ある地域資源を観光活用することで観光魅力の向上を図り、観光周遊を促進する。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域特産品の販売拡大・情報発信事業 500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗借上料、広告費、web広告用システム使用料、 ・需用費 (消耗品費、印刷製本費等) 2 伊勢志摩国立公園の景観を活かした観光事業 1,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ・カフェ事業の運営管理費 (人件費等)、広告費 ・需用費、デリバリーシステム利用料 3 地域における観光滞在時間向上事業 1,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・野外イベント等のシステム使用料、イベント警備委託料 ・絵かき体験会の開催経費 (講師招聘費等)、広告費 ・需用費 (消耗品費、印刷製本費等) ・モビリティ使用料、モビリティ管理費 4 志摩ストーリー発見観光バス支援事業 (負担金) 5,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー企画造成料、広告宣伝費、事務手数料等 		 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①事業展開を行った地域の入込客増加率 (+4%) ②市内全体の宿泊客数 (+2,350,000人) ③事業展開を行った地域の延べ数 (+3地域) ④志摩市管内水揚前年度対比額 (+150百万円) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/s-eisakusuishin/sogoseisakuka/chihousousei/shimashichihososeishingikai/index.html	

事業概要【買い物利便性向上事業～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～】

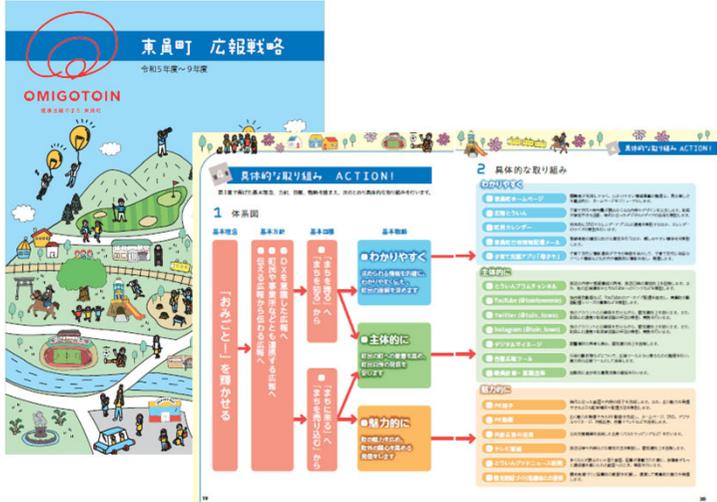
推進当初

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,600千円 (3,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	人口減少や少子高齢化が進行する中心市街地外において、地域内の人口減少や中心市街地への大規模スーパー出店による個人商店の客数減少、個人商店経営者の高齢化により、買い物拠点となる地域商店が減少している。買い物困難地域を対象に、買い物利便性の向上に繋がる事業を実施する事業者に対して、事業実施及び継続に係る事業費の一部を補助する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>買い物弱者の買い物機会の確保及び市内の消費拡大を図るため、新たにまたは事業拡大として買い物困難地域を対象に買い物利便性の向上につながる事業を実施する事業者等に対して、事業実施及び継続にかかる経費の一部を補助する。(商店設置事業、出張販売事業、買い物送迎事業、宅配事業)</p> <p>○事業初経費補助金 (採択1年目) : 2,000千円 ○運営費補助金 (採択2年目及び3年目) : 1,200千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①解消された買い物困難地域数 (自治会単位) (+11地域)</p> <p>②小売業者の減少抑制数 (+21事業者)</p> <p>③補助事業の平均売上高 (販売事業のみ) (+6,500千円)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.city.shima.mie.jp/ka-kuka/seisakuuishin/sogoseisakuka/chihouseisei/shimashichihososeishingikai/index.html</p>

申請者	三重県伊賀市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	414,174千円 (104,813千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造人材となる「IGABITO」の育成を全世代に拡大する ・誰もが生涯を通じて活躍できるまちづくりをすすめる ・“とことん伊賀”にこだわった移住プロモーションの展開により移住・定住の促進を図る ・関係人口の創出・拡大に取り組む 			
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>I 関係人口創出・拡大、移住促進に向けたアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した関係人口創出・拡大事業：2,870千円 ・移住プロモーション事業：315千円 ・地域資源にこだわる起業等支援事業：11,491千円 ・伊賀暮らし体験事業：202千円 ・DXを活用した新たな企業誘致事業：7,000千円 <p>II 誰もが輝く生涯活躍の伊賀市づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材が活躍する互助のまちづくり事業：7,279千円 ・交流型生涯学習のまちづくり事業：38,840千円 ・地域創造人材育成事業：1,212千円 ・地域が育むシビックプライド事業：5,104千円 ・地域の絆づくり事業：9,600千円 ・芭蕉翁の心を知り・学び・伝えるプロジェクト事業：20,000千円 ・市民活動応援事業：900千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①新たに移住した人数 (+92人) ②新たに育成した新IGABITO人数 (+200人) ③伊賀市ファン登録制度に登録した人数 (+500人) ④生涯学習を学ぶ人の増加割合 (+1.5%) 		関連URL https://www.city.iga.lg.jp/000003098.html	

事業概要【東員町みらいを育む町イメージアップ計画】

推進当初

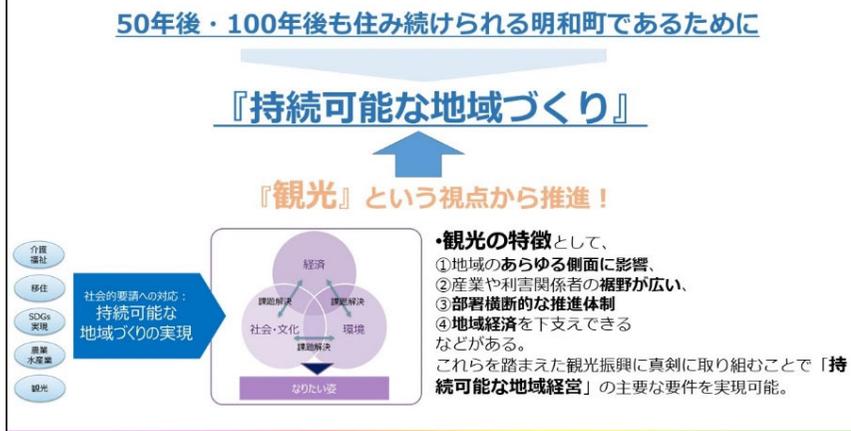
申請者	三重県東員町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,500千円 (37,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が自分たちの町に誇りを持ち、いつまでも住み続けることやUターンの増加を目指す ・町外の方に東員町を広く知ってもらい交流人口、関係人口、転入の増加を目指す 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>【発信力の強化】</p> <p>① 知ってもらう</p> <p>新たなPR雑誌発行事業 (委託料) 12,000千円 公共交通機関を利用したPR事業 (委託料) 6,000千円 都市部でのイベント開催事業 (委託料) 2,000千円 デジタル広告を利用したPR事業 (委託料) 2,000千円 町公式SNS伴走支援事業費 (委託料) 1,500千円</p> <p>② 価値を高める</p> <p>観光計画推進協議体運営事業 (委託料) 9,000千円 子ども達の「みらいを育む」町を実現するための計画策定と運営 (委託料) 5,000千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 定住者アンケートを実施し、本事業を通じ「子育て支援に魅力を感じた」を選択する方の割合 (+41%) ② こども歌舞伎、ミュージカルの観客動員数 (+700人) ③ Bリーグ公式戦の1試合平均観客数 (+200人) ④ 町ホームページ総アクセス数 (+700,000件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.town.toin.lg.jp/soshiki/1002/1/1/1/1146.html</p>

事業概要【三重広域連携スーパーシティ構想を契機としたデジタル田園都市創生プロジェクト】

推進当初

申請者	三重県明和町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	178,100千円 (43,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス機能を有した複合型施設の開設を行い、働く場として、また起業や移住、新たなビジネスの発掘を行うインキュベーションセンターとしての利用を行う。 ・今年度開業した大型リゾート施設「VISON」と連携したポータルサイトを基に地域の魅力発信を行い、消費活動が行われる経済循環をつくる。 ・遠隔地治療の医療MaaSを用いて交通弱者でも最先端の治療を受けられる体制づくりや、住民個人の健康データと連携した各個人に合わせた健康増進等を行う。 ・災害などの危険に対し、AIを利用した正確な危険予測を行い、地域住民だけでなく来訪者も安心して訪れる地域づくりを行う。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○キャッシュレス決済を推進し、地域でのデジタル通貨の導入 ・デジタル通貨の開発・導入 (委託料) 31,000千円 ○PHRと連動し、健康づくりの可視化や健康福祉とのデータ連携を行い、地域の健康意識向上 ・PHR連動モデル構築 (委託料) 11,000千円 ○AIを活用したリアルタイム災害予測システムの構築 ・地域河川・道路管理システム構築 (委託料) 33,000千円 ○起業支援や企業誘致等を行うサテライトオフィスの開設 ・開設準備、施設運営 (委託料) 17,000千円 ・施設管理 (使用料) 33,000千円 ○自治体とVISON等が連携した広域情報発信のためのサイト整備 ・プラットフォームカスタマイズ等構築 (委託料) 3,100千円 ○空き家バンク等を活用した移住定住促進 ・空き家バンク情報発信 (委託料) 5,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①インキュベーションセンター内のサテライトオフィス利用企業数 (+10社) ②インキュベーションセンター内のサテライトオフィス利用後の町内進出数 (+2社) ③デジタル通貨利用可能店舗数 (+50店舗) ④MAP型情報発信プラットフォーム内サイトアクセス数 (+50,000件) 		関連URL https://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/senryaku/senryaku02/kikaku/chihososei/1455264320924.html

申請者	三重県明和町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	137,440千円 (27,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客だけではなく、地域にも配慮した観光振興を図ることにより『持続可能な地域づくり』を目指す。 ・持続可能な地域を目指していくために、地域の郷土文化、産業に関する認知を地域内で高め、人材育成を図る。 ・「デジタル」技術を活用し、様々な垣根を超えた交流人口（ファン創出）拡大を図る。 ・デジタル技術等を活用した、マーケティングを図れる仕組みづくりによる効率的な情報訴求の土台づくり。 		
事業概要・ 主な経費	<p>1. 世界に認められる持続可能な観光地域づくり事業 明和町の歴史や文化、産業、ヒト、モノ、コトなどの観光資源について地域住民とともに整理、発掘を実施していき明和町版の持続可能な観光地域づくり計画を策定</p> <p>①計画策定、コンテンツ造成、人材育成【委託費：16,000千円】 ②プロモーション【委託費：2,000千円】 ③町内の小学生を対象にした、地域への関心・理解を図る事業。 【報償費：200千円】【使用料：1,000千円】【消耗品費：500千円】</p> <p>2. DXを活用した観光等サービス推進事業 観光コンテンツなどのデジタル化による、郷土学習や、マーケティングの促進を図るための、サービス開発。</p> <p>④観光・物産などのコンテンツの開発、人材育成【委託費：5,000千円】 ⑤明和町の郷土文化、産業のデジタル教材化【委託費：2,000千円】 ⑥観光サイトへの特集記事製作【委託費：1,000千円】</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>		
KPI	①持続可能な観光地域づくり候補人材数 (+45人) ②文化財・文化遺産の年間公開・展示数 (+14件) ③持続可能な観光体験商品開発数 (+22件) ④観光プラットフォームアクセス件数 (+32,000件)	関連URL	https://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/senryaku/senryaku02/kikaku/chihososei/1455264320924.html



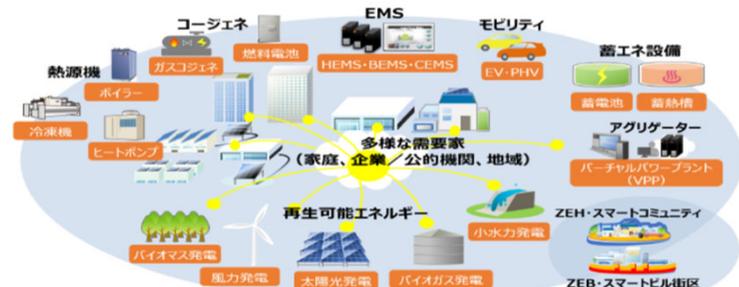
事業概要【県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	71,784千円 (23,938千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手同士の活動連携及び交流等の強化 ・移住の促進 ・地域の魅力発信・体感機会の提供 ・取組に係る課題の深堀と新たな取組の実施 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動の担い手の横の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、交流会、イベント開催費用他 6,971千円 ○移住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会等に係る情報発信 75千円 ○ワーケーションの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内意向調査、実施者へのアプローチ 3,909千円 ○取組に係る課題の深堀と新たな取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング、ワークショップ経費 6,374千円 ・抽出された課題への対応、地域間調整 2,589千円 ○地域の魅力発信・体感機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ツアー実施に係る経費 4,020千円 		<p>2015年～2045年 市町別人口減少率 (2045年社人研推計人口÷2015年国勢調査人口)</p> <p>0.3 ~ 0.5 0.5 ~ 0.7 0.7 ~ 1.0 1.0 ~ (増加)</p> <p>人口減少の著しい 県南部地域で 課題解決に向けた 取組を実施</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値 (+5.61%) ②地域住民等が主体となった地域への新たな活動件数 (+91件) ③南部地域内の企業・魅力体感事業への参加を通して、南部地域に定住することとなった若者の人数 (+10人) ④コーディネーターが実施する地域住民等に対するヒアリング・ワークショップの回数 (+360件) 		<p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

事業概要【カーボンニュートラルへの動きをチャンスととらえた三重の産業振興事業】

推進当初

<p>申請者</p>	<p>三重県</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和5年度第1回</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R5-R7年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)</p>	<p>113,313千円 (37,882千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>ローカルイノベーション分野</p>
<p>目的 (効果)</p>	<p>・本県の南部地域の豊かな自然環境等のポテンシャルを活用した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、エネルギーの地産地消により、地域の雇用創出や地域経済の活性化を図ります。 ・J-クレジット制度等を通じてカーボンニュートラルに資する森林等の整備や適正管理に対し投資が進むとともに、林業従事者等の新たな収入源の確保を図ります。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○地域の特性を生かした再生可能エネルギーを導入し、高度なエネルギーマネジメント技術を核として行う新たなビジネスモデル構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究費用 (委託料) 10,000千円 ・有識者からの評価、ヒアリング 180千円 ・事業推進経費 235千円 <p>○林業の活性化に向けたJ-クレジットの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林吸収クレジット認証取得・展開 (委託料) 14,545千円 ・林業DX普及展開 7,092千円 (うち補助金2,000千円) ・J-クレジット等の効果的な活用に向けた実証 (委託料) 2,830千円 <p>○林業以外の農水産業等におけるクレジット活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究委託費用 (委託料) 3,000千円 </div> <div style="flex: 2;">  <p>出典: https://www.meti.go.jp/press/2021/01/20220113001/20220113001-1.pdf</p>  <p>出典: https://japancredit.go.jp/about/outline/</p> </div> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地産地消型エネルギーシステムに係るビジネスモデル構築数 (+2件) ②地産地消型エネルギーシステムに係る新規事業参画事業者数 (+2者) ③J-クレジット制度における森林管理プロジェクトに登録する新規事業者・団体数 (+2者)</p>		
	<p>関連URL</p>	<p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>	

事業概要【みえの農林水産業経営安定化事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	150,362千円 (51,111千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料・肥料などの資材の安定供給、供給力の強化 ・藻類養殖の安定生産と水産物の販路拡大 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○飼料の自給体制構築事業、肥料の自給体制構築事業 ・県内農家における生産実証 (委託料) 1,000千円 ・機械導入経費 (補助金) 4,000千円 ・県研究所における生産実証等の事業推進経費 9,113千円 ○米粉の生産拡大推進事業 ・米粉の加工適正評価 (委託料) 500千円 ・生産実証場所の設置・運営に係る経費 1,987千円 ○黒ノリの色落ち緊急対策事業 ・大規模養殖試験 (委託料) 5,998千円 ・小規模養殖試験や効果検証 1,177千円 ○県産水産物販売チャンネル拡大事業 ・フェア開催や量販店への売り込み (委託料) 19,306千円 ・生産現場へのアドバイザー派遣 (委託料) 8,030千円 		
	   		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業における県内新規就業者数 (+9人) ②飼料・肥料の自給体制構築に取り組むモデル農家数 (+35戸) ③施肥に取り組む経営体の黒ノリ生産枚数の増加量 (+37万枚) ④県産水産物フェア開催量販店における県産水産物の販売金額 (+630百万円) 		
	関連URL	【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm	

事業概要【地域一体型スタートアップ支援事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,148千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	スタートアップ、企業、創業支援機関、大学、金融機関等の関係者が一体となってスタートアップを自律的・継続的に創出し、持続的に経済が成長し、誰もが取り残されず住みたい場所に住み続けることができる地域をめざす。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>(1) 事業計画ブラッシュアップ【一般財源対応】 ビジネスアイデアを形にするために必要な視点や手法を学ぶ機会を提供し、次のステージに進む起業家を輩出する。</p> <p>(2) 新規事業創出に向けたリバースピーチ 9,000千円 事業者が抱える課題や今後コミットしていく事業領域を発信しスタートアップとの協業を促進することで課題を解決。</p> <p>(3) インキュベーション促進【一般財源対応】 新規事業創出に取り組む県内スタートアップ等に対して、補助制度による企業間連携を促進する。</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①三重県における新規事業創出数 (+18件)</p> <p>②県外事業者による県内での課題解決に向けた新規取組数 (+11件)</p> <p>③対象事業に参加する事業者数 (+18事業者)</p>		<p>関連URL</p> <p>【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm </p>

事業概要【2025年大阪・関西万博を契機にした観光誘客と観光消費拡大による地域経済好循環創出事業】

推進当初

申請者	三重県名張市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,000千円 (12,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した観光キャンペーンやイベントを実施し、観光誘客を図る。 ・観光プロモーションの最適化や観光事業者の経営能力の向上を図る。 ・観光商品、土産物等の開発支援及び宿泊を伴う長期滞在を促すことにより、観光消費額の拡大を図る。 ・国内外の旅行会社へのセールスを実施し、万博開催時のインバウンド誘客を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	①商品開発事業 (委託料) 3,000千円 ・地域資源を生かした観光商品、土産物等の開発支援 ・市内の飲食、宿泊、土産物屋等小売店とのマッチング支援 ②観光誘客推進事業 (委託料) 3,650千円 ・観光事業者DX支援業務 ・オンライン及び首都圏を中心としたシティプロモーション ③万博プロモーション事業 (1,000千円) ・万博関連イベントにおける観光プロモーションに関するデザイン企画及び造形業務 ④インバウンドプロモーション事業 (2,000千円) ・海外メディアへのプロモーション ・ツアー商品等セールス		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①名張市を訪れた人の1人1回当たり旅行単価 (+3,418円) ②赤字四十八滝の観光入込客の年間延べ数 (+27,305人) ③東奈良名張ツーリズムマーケティングが造成したツアーへの外国人参加者数 (+500人) ④市内宿泊客の年間延べ数 (+18,963人)	関連URL	https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1327

事業概要【つながり・はぐくむプロジェクト】

推進当初

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	173,943千円 (52,332千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<p>今後、地域外の人々と地元住民の関わりを増やすことで、来訪地としての魅力を増しつつ、移住者や関係人口を増やし、外からの刺激を受けながら地域の課題解決につなげていく。また、地域の中でのコミュニティも多様化しており、地縁組織に加えて趣味・特技を通じた関わりや働くことを通じた幅広い世代の交流をデジタル手法も交えながら活発化していくことで、過ごす・暮らす上での満足度の高い、皆と「つながるまち」を目指す。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○働くことを通じた活躍・つながりを促進する <ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー・離職防止に向けた経営者・従業員セミナーの開催 ・業務分解によるシニア世代等の新たな活躍の場づくり 等 <p style="text-align: right;">委託料 5,068千円</p> ○デジタルでつながる仕組みをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動を促進し、「見える化」するためのアプリ導入 <p style="text-align: right;">委託料 16,748千円</p> ・デジタル技術を活用した情報発信 補助金 7,350千円 ○地域外との新たな交流・つながりを広げる <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー開催及びモニター結果を活用したプロモーション <p style="text-align: right;">委託料 3,850千円</p> ○趣味や特技を活かしたつながりを盛り上げる <ul style="list-style-type: none"> ・文化・スポーツ活動団体への支援 <p style="text-align: right;">補助金 3,828千円</p> 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①鳥羽ファン（オンラインコミュニティの登録者）数（+600アカウント） ②まちトークの開催地区数（+21地区） ③無料職業紹介所でのプチ勤務のマッチング人数（+15人） 		関連URL https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.html	

事業概要【コンパクトプラスネットワーク TOBAモデル】

推進当初

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,028千円 (54,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	暮らしの利便性を効率的に保持していくため、各地区のサービス拠点の再編・統合等を進め、後年度に過度の負担を残すことがないようにしていきとともに、拠点の集約化により著しい不便さを生じることがないように配慮し、デジタル化はもとより、公共交通等を活用して居住地域外へ出かけられる環境を維持していくことで、住民の健康維持やまちの経済の健全化に努め、本市らしい「コンパクトプラスネットワーク」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○適切な規模で公共交通を維持していくための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内交通の効率的なあり方検討 委託料 3,000千円 <p>○施設コンパクト化の補完策及び地域医療の確保に対する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療車両を活用したオンライン診療等の実証 車両整備費 16,500千円、委託料 23,576千円 <p>○乗り継ぎの円滑化やワクワク感向上による公共交通の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩MaaSシステム構築経費 負担金 3,200千円 ・人気キャラクターを活用した誘客促進事業 市営定期船キャラクターラッピング 委託料 5,291千円 イラストコンテストの開催経費 報償費 369千円 ・案内表示充実のためのモニター整備費 委託料 1,906千円 		 <p style="text-align: right; font-size: small;">整備する医療Maas車両 ※イメージ</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①かもめバス利用者数の増加 (+27千人) ②市内の年間宿泊者数 (+91万人泊) ③市営定期船キャッシュレス決済利用率 (+20%) ④本土側でオンライン診療を利用実患者数 (+18人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.toba.mie.jp/soshiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.html</p>

事業概要【観光DXでかがやく、観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	三重県熊野市ほか5自治体※	採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	22,474千円（7,500千円）
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>ポストコロナにおいて、デジタル技術を取り入れた「ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカタチづくり事業」及び「持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業」を一体的なプロジェクトとして実施することで、持続可能な担い手の育成、消費額の拡大、新たな観光コンテンツの創出による観光資源の魅力向上、持続可能な観光地域マーケティング等を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカタチづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東紀州地域映像・音声ガイド整備（委託料）4,000千円 ・デジタルマーケティング運用支援（委託料）1,000千円 ・旅ナカパンフレット作成事業（印刷製本費）1,100千円 ・デジタル観光コンテンツ作成事業（委託料）400千円 <p>○持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応観光ガイド整備（委託料）1,000千円 	 <p><世界遺産熊野古道 観光ガイドの整備></p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①東紀州地域における観光消費額（+3,511百万円）</p> <p>②観光コンテンツアクセス回数（+6,400回）</p> <p>③デジタルマーケティング参画事業者による業務改善数（+30件）</p> <p>④システム参入宿泊施設数（+24施設）</p>	<p>関連URL</p>	<p>（効果検証）</p> <p>【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p> <p>【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/soshiki/1-2-1-0-0_8.html</p> <p>【紀北町】 https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/kakuka/kikaku/kikakukakari/3_2/4_1/6_1/849.html</p> <p>【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1069.html</p> <p>https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1410.html</p> <p>【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/</p>

※三重県熊野市、尾鷲市、紀北町、御浜町、紀宝町、三重県の広域連携事業

事業概要【地域資源を活かした6次産業化と観光による輸出・集客促進事業】

推進当初

申請者	三重県熊野市	採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	交付対象事業費	181,997千円（61,714千円）
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>農業分野は、温暖な気候での栽培に適した唐辛子やコーヒー、カカオなど市場は小さいが競争力が少ないニッチな市場を意識した新たな農産物や、事業者からの引き合いが強い優良品種の栽培を行う。</p> <p>漁業分野では、アワビなどの種苗を放流し地域資源の増大を図ることで持続可能な地域産業の確立を目指す。</p> <p>特産品の付加価値向上のため専門家の派遣などによる6次産業化で魅力創出とブランド化を推進させ、市外にPR等を行い販路を広げることで、輸出力を強化し外貨を稼ぐとともに、観光業と連携し集客力を向上させ地域内での消費を増加させることで、労働生産性の向上につなげることを目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○農業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産力強化事業（補助金）22,043千円 ・高付加価値農産物推進事業（補助金）1,158千円 ・その他対象事業（消耗品費等）11,583千円 <p>○水産業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流（原材料費等）3,084千円 ・陸上養殖試験（需用費等）2,950千円 ・その他対象事業（消耗品費等）2,146千円 <p>○付加価値向上のための6次産業化と輸出、集客力向上のためのPR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業（報償費等）10,879千円 ・メディアPR（広告料）6,600千円 ・その他対象事業（消耗品費等）7,255千円 	 <p><国内産コーヒーの試験栽培></p>	
KPI	<p>①熊野市ふるさと振興公社の売上高（生産部門）（+109百万円）</p> <p>②漁業者の新たな収入源となる漁業種類及び副収入業種の増数（+1個）</p> <p>③地域特産品や農産物を取り扱う主要直売所の売上額（+1.2億円）</p>	関連URL	<p>（効果検証）</p> <p>https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p>

事業概要【若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト】

推進当初

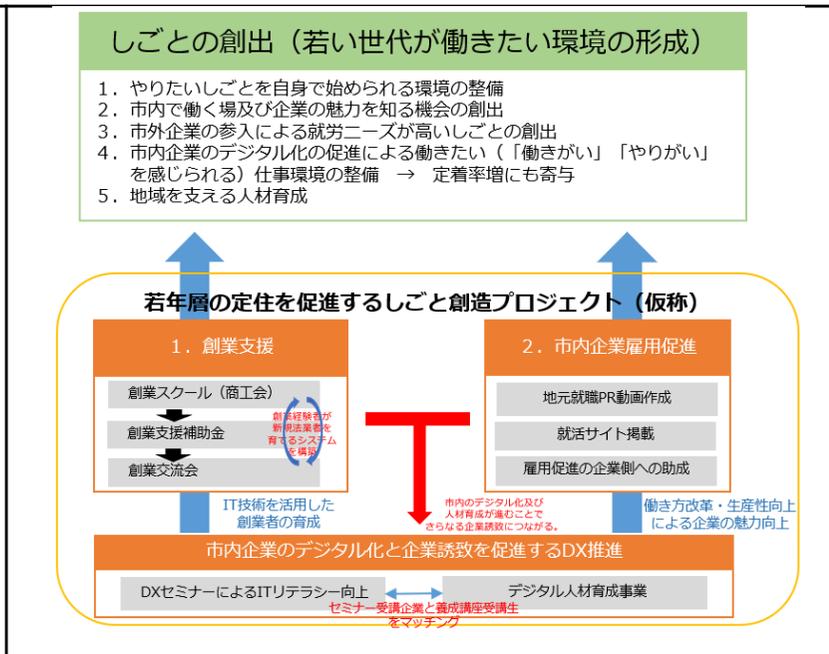
申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,695千円 (23,396千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野

目的（効果）

- ・若年が働く場を創出する
- ・市内企業への若年層の就職の推進を図る
- ・市内企業DXセミナー等のよりデジタル人材の育成を図る

事業概要・主な経費
※経費内訳はR6年度事業費

- 創業支援事業
新規創業者の支援及び創業者が交流する交流会を開催する。
 - ・新規創業者を支援（補助金）6,000千円
 - ・創業交流会の開催（委託料）500千円
- 若者の地元就職を促進する雇用促進事業
就職情報サイトを活用した市内企業の情報発信、ニーズ把握を目的に高校生を対象としたアンケート等を実施する。
 - ・就職情報サイトへのページ制作（委託料）5,500千円
 - ・高校生アンケート調査（委託料）396千円
- 市内企業DX推進事業
市内のデジタル化を推進するため、DXセミナーの実施やデジタル人材を育成する講座を開催する。
 - ・DXセミナー及びデジタル人材育成講座（委託料）11,000千円



KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①社会減による人口減少数の改善数（+45人）
- ②支援を経て創業した創業者数（+53人）
- ③助成金を活用した新規雇用者（+135人）
- ④デジタル人材養成講座の受講者数（+35人）

関連URL

(交付金の具体的使途・実施体制)
(効果検証)
<https://www.city.shima.mie.jp/kakuka/seisakuishin/sogoseisakuka/chihousei/shimashichihososeishingikai/index.html>

事業概要【デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通ネットワーク構築事業】

推進当初

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,351千円 (37,530千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー・航路など、既存の公共交通サービスを最大限に活用するとともに、最新のデジタル技術等についても積極的に活用し、市内各地域の状況に応じた持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	AI (人工知能) 予約システムなどの最新デジタル技術を活用したデマンド交通の実証運行を行う。 ○デマンド交通システム導入業務委託料 15,785千円 ○実証事業運営業務委託料 21,195千円 ‹‹ソフト事業経費›› ・デマンド交通運行管理業務 ・デマンド交通運行業務 ‹‹ハード経費›› ・備品購入費 550千円		<p style="font-size: small;">市民の皆さんが、気兼ねなくお出かけできる地域公共交通網を構築するため、地域の新しい公共交通として、志摩市デマンド交通「のりあい」の実証運行を行います。</p> <p style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; text-align: center;">デマンド交通「のりあい」とは？</p> <p style="font-size: x-small;">決まった時間に決まったルートを実行する路線バスや、自由な時間に自由な場所で乗降ができるタクシーとは異なり、予約に応じてAI (人工知能) が運行ルートを考え、定められた停留所の間を乗り合いにより走行する新しい公共交通です。</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">「のりあい」はこんな時に利用できる乗り物です！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center; font-size: x-small;"> <div> <p>普段のお買い物へ</p>  </div> <div> <p>かかりつけの病院へ</p>  </div> <div> <p>友達とのお出かけに</p>  </div> <div> <p>路線バスに乗り継いで 鞆方まで</p>  </div> </div>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①新たに実装した公共交通の利用者数 (+16,250人) ②既存の公共交通の利用者数 (+327,000人) ③公共交通乗降箇所数 (+250箇所) ④観光施設の入込客数 (+3,600人)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.city.shima.mie.jp/ka-kuka/seisakusuishin/sogoseisakuka/chihousousei/shimashichihososeishingikai/index.html

申請者	三重県玉城町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,000千円 (13,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場 (拠点) を中心市、地域内外の交流を促進し、関係人口・交流人口の増加を図る。 ・地域住民と関係人口との活発な交流により、地域住民の郷土愛を醸成する。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①関係人口の活動支援 2,500千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の活動体験支援制度事業実施 ・ファンの集い開催 ②気軽な交流、ファンが集う機会創出事業 3,000千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した体験型ツアー実施 ・関係人口・地域住民との交流イベント ③プロモーション活動 4,000千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な観光PR・魅力発信 ・地域外 (中京圏等) イベント開催、出展費 ④コーディネーター人材活動 3,500千円 (委託料) <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口と地域住民をつなぐコーディネーター活動 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①交流施設利用者数 (+5,000人) ②ファンクラブ会員数 (+300人) ③イベント参加者数 (+250人) 		関連URL	https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/chosei/gyokaku/shisaku/kasokuka.html

事業概要【持続可能な地域を育む人材育成事業】

推進当初

申請者	三重県御浜町ほか4自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	58,093千円 (18,953千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 三重県南部に位置する5市町は、子どもだけでなく様々な年代が、その地域の財産である地場産業や文化を含めた様々な学びの機会をつくり、加えて、移住者等の働く場である地場産業の強化を実現させる。 若者の定住や、地元に戻ってきたい、この地域に住みたい方を増やすことで地元を愛し地元で根付く人材育成を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>目的の実現のため下記4つの事業の柱を設定し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域での学び・体験の支援 2,784千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 就労体験事業 300千円 └ 在宅ワーカー創出事業 1,633千円 └ 農業体験住宅事業 598千円 └ その他 対象事業 253千円 ○子どもの学び・体験の支援 0円 <ul style="list-style-type: none"> └ 交付対象外事業 12事業 ○地域に根付く担い手の受け皿づくり 6,042千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 雇用創出マッチング事業 1,200千円 └ 6次産業化に向けた商品開発相談会事業 2,100千円 └ 第1次産業セールスプロモーション、高品質化資材支援事業 1,900千円 └ その他 対象事業 842千円 ○地域の魅力の情報発信 10,127千円 <ul style="list-style-type: none"> └ 都市部への移住促進PR事業 1,315千円 └ 特産品にかかるトッププロモーション拡大事業 1,598千円 └ 都市部へのプロモーション事業 6,100千円 └ その他 対象事業 1,114千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	<p>①東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率 (+1.65%)</p> <p>②移住に係る行政窓口 (空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口) を活用した東紀州地域への移住者数 (+240人)</p> <p>③第1次産業をはじめとする地域の産業及び伝統文化等の体験学習回数 (+374回)</p>		
		関連URL	<p>(効果検証)</p> <p>【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/soshiki/1-2-1-0-0_8.html</p> <p>【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p> <p>【紀北町】 https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/kakuka/kikaku/kikakukakari/3_2/4_1/6_1/849.html</p> <p>【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/</p> <p>【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1069.html</p> <p>https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1410.html</p>

※三重県御浜町、尾鷲市、熊野市、紀北町、紀宝町の広域連携事業

事業概要【戦略的なプロモーションによる三重の魅力発信】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	236,093千円 (108,031千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<p>・三重の魅力ある地域資源を効果的に発信するとともに、「三重県」全体の認知度を高める効果的なプロモーションに取り組み、観光、食、県産工芸品や移住など、あらゆる場面において「選ばれる三重」の実現をめざします。</p> <p>・特に観光においては、旅行者のニーズが多様化する中、戦略的なプロモーションやツールの活用による効果的な発信に取り組むとともに、二次交通の充実に向けた取組等を進め、観光地としてのブランドイメージ向上を図ります。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○トータルプロモーションの推進 ・「美し国みえ」を統一的キャッチフレーズとするプロモーションの推進 (委託料) 16,605千円 ・首都圏における三重県プロモーションの実施 (委託料) 19,488千円 ○首都圏等大都市圏から三重県への周遊促進 ・情報発信媒体掲載料 (委託料) 8,652千円 ○「観光三重サイト」の機能強化 ・データの連携拡張や人工チャットボットの導入などサイトの機能強化 (委託料) 43,000千円 ○伊勢志摩観光MaaSツールの導入・運用事業 ・伊勢志摩MaaSの利用促進のためのプロモーション、キャンペーンの実施 (負担金) 11,000千円 		 <p>三重県プロモーションイベントの実施</p> <p>※観光三重HP (現時点)</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 県内の観光消費額 (+2,231億円) ② 県内の延べ宿泊者数 (+353万人) ③ 首都圏・関西圏における観光旅行先としての三重県への訪問意向および三重県産品の購入意向の割合 (+6.4%) ④ 伊勢志摩観光MaaSツールの登録者数 (+400,000件) 		関連URL	【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm

事業概要【持続可能な農林水産業の振興事業】

推進当初

申請者	三重県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	403,061千円 (142,417千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	農山漁村地域において、雇用機会の創出・拡大や所得の向上を図る ・農林水産業における労働力確保 ・気候変動に対応した農林水産業の実現 ・県産農林水産物の販路拡大・輸出拡大			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○労働力不足への対応 (漁業の担い手確保) ・専門家派遣による個別伴走支援 (委託料) 1,340千円 ・「みえ漁師Seeds」の機能拡充 (委託料) 1,103千円 ○気候変動への対応 (環境変化に対応した海女漁業推進) ・サザエの種苗生産試験や放流試験 (委託料) 2,809千円 ・サガラム種苗の生産試験 (委託料) 1,152千円 ○販路拡大・輸出拡大 (農林水産物販売チャンネル拡大) ・県内外のホテルや飲食店等でのフェアの開催、生産・流通・販売システムの構築 (委託料) 11,902千円 ○農山漁村の振興 (農泊の推進・レベルアップ) ・モニターツアーの実施 (委託料) 6,000千円 ・情報発信 (委託料) 1,430千円			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①農林水産業における県内新規就業者数 (+9人) ②海面養殖業産出額 (+4,020百万円) ③県産農畜産物の新たな取引件数 (+45件) ④農山漁村地域における新たに生まれた地域の自立的な取組数 (+51取組)		関連URL 【三重県の地方創生の取組】 https://www.pref.mie.lg.jp/KIKA/KUK/HP/m0005000081.htm	

申請者	三重県尾鷲市	初回採択回	令和6年度第1回募集														
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,171千円 (6,771千円)														
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野														
目的 (効果)	<p>「第2期尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本目標1に「稼ぐまちをつくとともに、安心して働けるようにする」と掲げています。地域の稼ぐ力を高め、やりがいを感じる事ができるしごと・雇用機会を創出し、持続可能な地域経済の活性化に繋がる取組みを進めることで、「生産性が高く稼ぐまち」を実現することを地方創生として目指す将来像とします。</p>																
事業概要・ 主な経費	<p>1. 市内企業の活性化事業 関係者と連携し、企業の発展支援を行うとともに、企業情報のPRを行い、事業者が連携して実施する活性化に向けた取組み等：2,933千円</p> <p>2. 市内企業のDX推進支援事業 地元企業においてDX推進を支援し、各企業における生産性向上を図るため、DX関連事業に係る経費を補助する：2,080千円</p> <p>3. デジタル技術活用魅力発信事業 協同組合尾鷲観光物産協会や尾鷲商工会議所、地域事業者と連携して地域を活性化させていくため、各種PR等を実施する：1,758千円</p>																
※経費内訳はR6年度事業費	<p>デジタル田園都市国家構想推進交付金 (地方創生推進タイプR6-9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A. 目指す将来像</th> <th>B. 課題</th> <th>C. 交付対象事業</th> <th>【経費内訳 (R6年度)】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> 第2期尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略 生産性が高く 稼ぐまちを実現 【基本目標1】 </td> <td>人口減少と高齢化</td> <td>市内企業の活性化 ・伴走型支援 ・企業の魅力発信(市内外へ) ・イベント集客促進</td> <td> ・伴走型支援 983千円 ・地元企業PR 350千円 ・地元企業高校生PR 100千円 ・深層水キャンペーン 1,000千円 ・イタタキ市集客促進 500千円 </td> </tr> <tr> <td>市内企業の持続化</td> <td>市内企業のDX推進支援 ・DX推進支援補助金 ・各種セミナー ・個別相談</td> <td> ・DX推進支援補助金 2,000千円 ・事務経費 80千円 </td> </tr> <tr> <td>情報格差とデジタル化</td> <td>デジタル技術活用魅力発信 ・デジタルマップ活用 ・市内周遊の促進 ・尾鷲市の魅力発信</td> <td> ・デジタルマップ 198千円 ・市内周遊バスポート 440千円 ・PRサイト 300千円 ・学生魅力発信 300千円 ・専門家魅力発信 120千円 ・SNS広告等PR 300千円 ・事務経費 100千円 </td> </tr> </tbody> </table> <p>【KPI】 現時点→3年後 法人数 (475社→475社) 売上増加額 (0円→300万円) DX推進事業者数(0社→30社) フォロワー数 (3300→5000)</p>			A. 目指す将来像	B. 課題	C. 交付対象事業	【経費内訳 (R6年度)】	第2期尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略 生産性が高く 稼ぐまちを実現 【基本目標1】	人口減少と高齢化	市内企業の活性化 ・伴走型支援 ・企業の魅力発信(市内外へ) ・イベント集客促進	・伴走型支援 983千円 ・地元企業PR 350千円 ・地元企業高校生PR 100千円 ・深層水キャンペーン 1,000千円 ・イタタキ市集客促進 500千円	市内企業の持続化	市内企業のDX推進支援 ・DX推進支援補助金 ・各種セミナー ・個別相談	・DX推進支援補助金 2,000千円 ・事務経費 80千円	情報格差とデジタル化	デジタル技術活用魅力発信 ・デジタルマップ活用 ・市内周遊の促進 ・尾鷲市の魅力発信	・デジタルマップ 198千円 ・市内周遊バスポート 440千円 ・PRサイト 300千円 ・学生魅力発信 300千円 ・専門家魅力発信 120千円 ・SNS広告等PR 300千円 ・事務経費 100千円
A. 目指す将来像	B. 課題	C. 交付対象事業	【経費内訳 (R6年度)】														
第2期尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略 生産性が高く 稼ぐまちを実現 【基本目標1】	人口減少と高齢化	市内企業の活性化 ・伴走型支援 ・企業の魅力発信(市内外へ) ・イベント集客促進	・伴走型支援 983千円 ・地元企業PR 350千円 ・地元企業高校生PR 100千円 ・深層水キャンペーン 1,000千円 ・イタタキ市集客促進 500千円														
	市内企業の持続化	市内企業のDX推進支援 ・DX推進支援補助金 ・各種セミナー ・個別相談	・DX推進支援補助金 2,000千円 ・事務経費 80千円														
	情報格差とデジタル化	デジタル技術活用魅力発信 ・デジタルマップ活用 ・市内周遊の促進 ・尾鷲市の魅力発信	・デジタルマップ 198千円 ・市内周遊バスポート 440千円 ・PRサイト 300千円 ・学生魅力発信 300千円 ・専門家魅力発信 120千円 ・SNS広告等PR 300千円 ・事務経費 100千円														
KPI	①新規雇用者数 (+3人) ②支援事業を通じて拡大した売上増加額 (+3,000千円) ③DX推進に向けて行動した事業者数 (+30社) ④事業に関する情報発信回数 (+150回)	関連URL	https://www.city.owase.lg.jp/sos/hiki/1-2-1-0-0_8.html														
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値																	

事業概要【にぎわいの森を核としたサステナブル観光振興】

推進当初

申請者	三重県いなべ市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	132,340千円 (29,480千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品の開発により、消費の向上を図る。 ・地域特有の資源を活用した自然・地域文化の創出により観光交流人口の拡大と滞在時間の増加を図る。 ・地域の人材育成、販路拡大、ターゲティング及びプロモーションにより、認知度の向上と消費の拡大を図る。 ・デジタル技術を活用したスタンプラリーにより回遊データを分析し、行動喚起・移動喚起に向けたプランを作成する。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域の人材育成支援事業として、研修会を開催するほか、市民をターゲットにした実証実験研修により改善につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティ・プロモーション研修・実証実験 (謝礼・委託) : 5,800千円 ・会議及び実証実験 (消耗品) : 480千円 <p>○商品開発や既存商品の磨き上げを実施、ターゲティングを実施しイベントの開催や出展により、開発する商品やサービスが実行可能であるかの調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発等の支援 (委託) : 8,100千円 ・海外エージェント等招聘 (委託) : 3,000千円 ・自然体験イベント開催 (委託) : 8,000千円 ・フィジビリティ (委託) : 4,100千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+0.53億円) ②山辺商品及び旅行商品開発数 (+6件) ③観光入込客数 (+15,000人) ④観光産業の経済波及効果 (+4.3億円) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.inabe.mie.jp/shisei/keikaku/keikaku/1004053.html</p>

事業概要【「不易流行」と「旅・住包摂」の観光まちづくり事業】

推進当初

申請者	三重県伊賀市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	210,847千円 (43,566千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	目的：観光を取り巻く社会的状況の変化への対応 地域に受け継がれた有形・無形の歴史文化資源を活用した持続可能な観光まちづくり 効果：産業としての観光の底上げと古民家や歴史的建造物の保全と歴史伝統文化の継承			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	1. 地域に残る有形・無形の歴史文化資源の掘り起こし (再生) と利活用 (マネタイズ) ① 高付加価値な旅行商品の企画開発・販売及びその支援 7,150千円 (負担金) ② 販路開拓とプロモーション 5,897千円 (負担金) 2. 観光人材の発掘・育成 (ひとづくり) ① 市民・市内事業者向け観光リーダー人材発掘・育成プログラム 1,850千円 (負担金) 3. 地域一体となった公民連携による地域経営体制 (しくみづくり) ① 観光に関するデータの一元的な収集 (タビマエ・タビナカ・景況・入込など) とデータに基づく戦略策定 7,410千円 (負担金) ② 地域全体(市民/事業者/関係団体)での合意形成に向けた働きかけ 9,282千円 (負担金) ③ 協議会の運営に関する補助職員人件費及び社会保険料 4,682千円 (報酬) 4. 県史跡 鍵屋辻公園内における未利用の文化的価値を有する施設の改修などの整備 7,295千円 (委託料)		 <p>地域のWellbeing向上を目的とした観光まちづくり</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①観光消費額単価 (+1,687円) ②伊賀市の地域ブランド力 (+40位) ③住民参画度 (+6位) ④市民、事業者、出身者等を対象とした観光まちづくりに関する勉強会・セミナー・ワークショップ等の実施件数 (+15件)		関連URL https://www.city.iga.lg.jp/0000000211.html https://www.iga-guide.com/	

事業概要【産学官連携伊勢麻GX推進プロジェクト（天津菅麻プロジェクト）】

推進当初

申請者	三重県明和町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,000千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	明和町内の公有地や遊休農地等で伊勢麻を生産し、麻に関する歴史文化の継承と農業としての麻生産の確立、担い手の確保および明和町内での麻産業の振興を産学官連携により伊勢麻の聖地化および大麻によるGXの推進を図ることにより、本町の特性に合った多様で付加価値の高い産業を創出し、第一次産業の特産品開発を促進することや既存・新規立地企業の支援等によって、足腰の強い地域産業構造の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>明和町産学官連携伊勢麻振興プロジェクト（天津菅麻プロジェクト）</p> <p>目的 明和町内の公有地（国史跡齋宮跡）や遊休農地で伊勢麻を生産し、麻に関する歴史文化の継承と農業としての麻生産の確立、担い手の確保および明和町内での麻産業の振興を産学官連携により実施し、伊勢麻の聖地化および大麻によるGXの推進を目指す。</p> <p>実施体制</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">      </div> <p>①大麻草の在来種の保存、品種改良 ・種（日本の在来品種の保存、播種用の種の安定供給、食用/油）の栽培 ・栽培時に生じる葉、花種の有効活用（本草学、CBD等カンナビノイドの抽出の検証）</p> <p>②麻生産技術、歴史・文化の継承 ・齋宮跡や明和町内で土地を確保し、生産した大麻を使って精製（麻繊維）や麻糸、麻布などを生産 ・麻糸、麻布荒紗に関わる技術の継承と活用 ・神事用大麻の生産</p> <p>③麻文化の継承と地域ブランディング ・麻の栽培～麻布になるまでの一連の過程を体験プログラムの作成 ・麻糸織みの技術継承チームの構築 ・齋宮や御糸地区の歴史文化による地域ブランディング</p> <p>④産業利用実験農場・施設を実証研究 ・麻の多岐にわたる産業利用に必要な試験農場、研究施設の開設、関連企業の誘致 ・パンパース、バイオプラスチック等の新産業利用の実証研究</p> <p>⑤新たな大麻産業の創造に関する取組 ・大麻草の活用に関する情報の収集 ・大麻草の活用に関する啓発活動 ・大麻草の活用に関心を持つ企業間の連携 ・認証制度に関する調査研究</p> <p>大麻でGX宣言（脱炭素先行地域）により明和町が取り組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明和町が脱炭素先行地域を目指し、各府省庁の支援策も活用することで、GXの社会実装を後押しする。 ・上記の取り組みを町として強力にバックアップすることにより2030年度の温室効果ガス46%削減や2050年のカーボンニュートラルの達成、安定的で安価なエネルギー供給につながるエネルギー需給構造の転換の実現、さらには、明和町の産業構造・社会構造を変革し、将来世代を含む全ての町民が希望を持って暮らせる社会の実現を目指す。 </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における新規雇用者数（+9人）</p> <p>②麻の耕作面積（+7.6ha）</p> <p>③プラットフォーム参加企業数（+70件）</p> <p>④体験コンテンツ造成数（+7件）</p>		
	関連URL	https://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/senryaku/senryaku02/kikaku/chihososei/1455264320924.html	

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【スポーツを核とした人流の創出で活力を生む「つ」のまち活性化プロジェクト事業】

拠点当初

申請者	三重県津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,919,782千円 (68,298千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>中心市街地に近接して位置する既存競技場を、大規模スポーツ大会やスポーツ合宿を呼び込むための屋外スポーツの拠点施設として再構築することに加え、同施設を拠点としたスポーツコミッション体制を構築して観光資源等を組み合わせたスポーツツーリズムを推進することにより、スポーツ関係者の来訪を呼び込むとともに、従来通過型の来訪者を立寄型・宿泊型へ転換して交流人口を拡大し、更には本市の魅力を発信してリピートに繋げて稼ぐ力をつけ、従来取り組んでいる定住増加策との相乗効果により、定住人口の増加に繋げ、市全体の地域再生を目指す。</p>		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>津市海浜公園内陸上競技場を本市の屋外スポーツ施設の拠点として、域外からの広域的な大会や合宿誘致が可能となるよう、サッカーを始めとした多目的に利用可能なスタジアムや駐車場を整備する。施設内には、新たに市民の健康増進、体力維持のためのランニングロードを整備する。</p> <p>また、スポーツコミッション窓口の機能を備えた管理棟を整備する。さらに、競技場内に自動撮影可能なAIカメラ等を設置し、大会や合宿の撮像を活用した試合の分析や選手の動きの解析ができるなど、会場の魅力向上を図る。</p> <p>○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 (R6) 【実施設計業務】 68,298千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①津市の人口 (▲6,874人) ②津市海浜公園内陸上競技場への来場者数 (会議室含む) (+69,000人) ③津市海浜公園内陸上競技場における合宿及び大会、記録会 (+40回) ④域外からの宿泊客数 (+3,500人)</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【阿下喜ビジターセンター整備事業】

拠点補正

申請者	三重県いなべ市	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	71,800千円	
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野	
目的（効果）	<p>中心市街地の空き家をリノベーションし、6次化やレンタルキッチン等の機能を有する施設として整備し、地域資源を活用した新たな商品開発や販売を進めることにより地域の産業の振興を図る。</p> <p>また、当該施設整備とあわせて、コワーキングスペースや交流スペース等を確保し、起業・創業者や主人公の活躍の場の確保と市民や観光客などの交流を促進し、地域の賑わいを創出する。</p>			
整備内容・利活用方策	<p>6次化やレンタルキッチン、コワーキングスペースや交流スペース等の主人公が活躍する多機能を有する拠点を整備し、持続可能な観光振興や産業振興の実現により、まちの賑わいの創出を目指す。</p> <p>また、SNSでのプロモーションやデジタルサイネージ、地域プロモーション映像により、売り上げの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）阿下喜ビジターセンター整備費：56,500千円 ・サイクルステーション設備及び車中泊設備新設：15,300千円 			
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口・世帯数（+100） ②新規就農者数（+10人） ③起業・創業者数（+15人） ④拠点施設使用料収入（+1,400千円） 		関連URL	https://www.city.inabe.mie.jp/shisei/keikaku/keikaku/1004053.html